

菊池教育事務所の分析結果と今後の取組

1、成果及び課題

(1) 成果

- 教科の調査の結果から、小学校国語「書くこと」、中学校英語「書くこと」に関する学力向上が見られた。このことは、「熊本の学び」アクションプロジェクト（重点取組4）読解力向上の取組実践において、児童生徒の意見等を書く時間を十分に確保する等の指導改善の成果が反映されているものと考えられる。
- 質問紙調査の結果から、【参考指標2：家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。】に関しては、県平均を上回っている。このことは、学校質問紙調査からも全ての学校において、学習方法等を具体例を示しながら充実した指導が展開されており、その成果が反映されたものと考えられる。

(2) 課題

- 教科の調査の結果から、小学校、中学校ともに「知識・技能」の観点での大きな課題が感じられる。特に、定着が不十分な児童生徒に対しての（重点取組2）読み・書き・計算の習得の徹底及び（重点取組3）定着確認の徹底に対しての早急な取組が必要である。
- 質問紙調査の結果から、ICT機器活用状況及び【参考指標1：授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか。】に関しては大きな課題が見られる。ICT機器の日常的な活用も踏まえた授業改善策が必要である。

菊池教育事務所の分析結果と今後の取組

2、今後の重点取組

- 菊池教育事務所取組の方向、重点取組事項、学力向上に向けた授業づくりの視点に基づき、各種訪問事業及び各種研修会等を通じて、取組の更なる推進を図る。
 - ・管内教育長会議、管内校長会議、管内研究主任会にて実態及び今後の方向性について共通理解の確認
 - ・市町教育委員会指導主事との学力向上対策会議の開催及び下記実践事項の共通理解
 - ・学力向上サポート事業を中心とした校内研修訪問及び下記実践事項を中心とした指導の展開

【共通実践事項】

「誰一人取り残さない学びの保障」

- ・信頼関係の構築と学習規律の徹底による土台づくり
- ・児童生徒が「分かった」「できた」と実感できる授業づくり
- ・授業の中で、基礎基本の定着を確認し、基礎学力を保障する

「教員一人一人の授業力向上」

- ・県学力・学習状況調査等における定着率40%未満の児童生徒の確実な把握
- ・定着が不十分な児童生徒への手立てを意識した単元構想と授業構成
- ・ICT機器を日常的に活用できる授業実践
- ・学校総体による共通実践事項の明確化と人材育成の推進